

<1月号②>

令和2年1月27日

総社市立常盤小学校



常

学校だより

ときわっこii

学校の様子⑳ 避難訓練～地震編～

1/15(水)の業間時間に地震の避難訓練を行いました。今回までに火事、不審者対応の2回の訓練を行っていました。2回はいずれも授業中で教師の指示のもとでの訓練でしたが、今回は業間

時間ということもあり、自分で判断・行動が求められる訓練でした。運動場で子どもたちの様子を見ていましたが、真剣さに欠ける児童や話し声が聞こえる場面がありました。いずれもわずか数人の児童でしたが、命を守る訓練において一人たりともあってはならないことだと子どもたちに話しました。

“わかるとできるのさ”今日の訓練で学んだことは、わかるだけでなく必ずできなければならないことです。なぜなら大切な大切な命を守ることに繋がるからです。



学校の様子㉑ 今月の歌「しあわせ運べるように」

1/20(月)に音楽朝礼がありました。今月の歌は、「しあわせ運べるように」です。この歌は、今から25年前、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災の後、当時小学校の音楽教諭であった臼井 真先生が作詞作曲された歌です。「地震に負けてはいられない」「亡くなった方々の分も一日一日大切に生きよう」「子どもたちには未来に向かって強く生きぬいてほしい」という思いが込められています。その後、東日本大震災、熊本地震でも歌われふるさとを奪われた人々の胸に鎮魂歌として歌い継がれています。こうしたこの歌に込められている人々の思いを竹教諭から担任を通じて子どもたちに伝えられ、この

日気持ちのこもったとても澄んだ歌声が体育館中に響き渡りました。この歌が受け継がれることで、被災された方々の思いも引き継がれていくんだなあと思いました。歌の力って大きくてすてきだなと思いました。

しあわせ運べるように

地震にもまけない 強い心をもって
亡くなった方々のぶんも
毎日と大切に生きていこう
傷ついたふるさとをもとの姿に戻そう
支えあう心と明日への希望を胸に
響きわたれ ぼくたちの歌
生まれ変わるふるさとのもらに
届けたい私たちの歌 しあわせ運べるように

学校の様子㉒ 教員研修 プログラミング教育

聞きなれない言葉ですが、2020年から必修化されるプログラミング教育とは、パソコンを使うスキルを身に付けることだけが目的ではなく、プログラミング的思考を養う、つまりは「順序立てて考え、試行錯誤し、ものごとを解決する力」を身に付けることを目的としています。1/21(火)に本校で研修会があり、平松教諭が授業公開しました。算数科の多角形の作図に挑戦しました。子どもたちがとても生き生きとした表情で次々と図形を作り上げていました。最後には星の形を作図した児童もいました。我々教員は、業務が多忙化する中、「教える」という最も必要なスキルを磨いていかなければなりません。そして、現状に満足せず、より質の高い教育が提供できるよう日々研鑽していきたいと思えます。